



第259号
編集・発行
幸田中学校
印刷
大日印刷

卒業記念号



体育大会 集合写真

一歩を踏み出すことで



校長 山中 剛

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。九年間の義務教育を終えて、それぞれの道を歩む日を迎えられることは、喜ばしい限りです。今年は能登半島地震という災害が起きた。改めて命の大切さ、人と人のつながりの大切さ、当たり前の日常のあり難さを感じずにはいられません。

学年目標「挑戦」のもと、中学校生活のリズムをつかんでいった一年生。一年生では「躍動」を目標として、先輩と後輩をつなぐ役目を果たしました。そして、三年生では「飛翔」した。そして、三年生では「飛翔」を掲げ、コロナ禍から脱して新たなスタートを切り、地域へと一步踏み出そうする活動が印象に残っています。

「Get Over」(輝け幸中生のつながりの輪)をスロー・ガングで組んだ体育大会。縦割り演舞や全校ダンス(Rising Sun)を通して、全力で仲間と舞い、叫ぶ熱い姿を披露しました。「翔」(Spark Smile)で取り組ん

だ幸中祭。笑い声と歓声に体育館が包まれ、新たな文化の息吹を感じました。また、各学級の合唱はもろんのこと、学年合唱「言葉にすれば」、全校合唱「輝くために」は心地よいハーモニーとして今でも耳に残っています。特に、学年合唱を合唱コンクールの演目に初めて取り入れたことは、大成功と言える完成度でした。会場にいる方の心に響く歌声で、この曲を通して家族や地域の方へ感謝とエールを届けたいという決意が伝わってきました。

そして、今年度の新たな挑戦した町の防災訓練や地域のイベントで「Rising Sun」を披露する姿からも、地域への感謝の思いの高まりを感じました。

三年生の皆さんのかうした一歩を踏み出した新たな取組を地域の方々は「心が震えた」「エネルギーをもらえた」「中学生つてすごいね」と高く評価してくださいました。幸田中学校がこれまで脈々と育ってきた活動が、新しい接点(めぐり逢い)を生み出してくれたと思っています。

「言葉にすれば」の歌詞で繰り返される「めぐり逢い」という言葉。これから始まる新しい世界でも、思いを言葉にして一歩を踏み出す行動を起こすことで、皆さん的人生を生きることに対する「めぐり逢い」につながることを心から願っています。

を期待しています。
「卒業おめでとう」がいります。

正面で、まつすぐ

伊藤 汐里

Being honest may not get you many friends, but it'll always get you the right ones. (正面であることは多くの友人を作れないかもしない)でも、常に正しい友人を作ることができる。)

世界で一世を風靡したザ・ビートルズ、ジョン・レノンの言葉です。たった一人で正しい道を進もうとするのは、ときに寂しく困難です。でも、自分を信じて進み続けていれば自然と支えてくれる仲間ができます。

みなさんが今後も、真の仲間と心から楽しみ輝けるよう活躍を期待しています。卒業おめでとう。

「切り拓く」

竹田 陸人

切り拓く。新天地を切り拓く。未 来を切り拓く。義務教育が終了し、それぞれが選択した道を進んでいきます。進む中で困難なことが待ち受けているでしょう。そんなとき、自分を支えるのは、誰よりも頑張ったこと、誠実に向き合ったこと、ともに努力した友だと思います。

何か一つ輝けるものを見付ける。みんなの活躍が響いてくるのを楽しみにしています。

「失敗から学ぶ」

原田 真杜

必死になっていた団活動、合唱コンクールで聴かせてくれ立派な歌声。頼もし姿が、心に響きました。卒業おめでとうございます。

必死になっていた団活動、合唱コンクールで聴かせてくれ立派な歌声。頼もし姿が、心に響きました。卒業おめでとうございます。

必死になっていた団活動、合唱コンクールで聴かせてくれ立派な歌声。頼もし姿が、心に響きました。卒業おめでとうございます。

「ありがとう」

杳名 健次

卒業のみなさん、
ご卒業おめでとうございます。
みなさんと交わした「おはよう。」
朝の陽射しのように明るい声と、冬
の日向のように温かな表情で交わし
た挨拶は、三十年前のバレーボール

「ありがとうおめでとう」

青野 ひろみ

卒業おめでとうございます。四月
にみなさんと出会ってから、あつとい
う間に一年が経とうとしています。授
業ではいつも明るく答えてくれたり、
グレープワークでは友達と一生懸命考
えていたりする姿がとても印象的で

「卒業生のみなさんへ」

杉浦 孝介

何かに迷ったとき、悩んだとき、
ずっとおへそに手を当ててみてくだ
さい。おへそは、あなたを産んでく
れたお母さんとつながっていたところ
です。おへそに手を当ててみると、
あなたはたくさんの愛情に包まれて成

せらず、自分の道を切り拓いてください。まだまだ、道は始まつたばかり、可能性は無限に広がっています。
「卒業おめでとう」がいります。

「会う理由を見付かる」

渥美 駿也

卒業を迎えるとき、僕の友達が「
なんことを言いました。」

「これから会うのに理由がいるのか
あ。」

今まで幸田中に行けばみんなに会うことができました。けれど、これからはそれぞれの歩く道が異なっています。きっとだんだんと疎遠になってしまふでしょう。だからこそ「会う理由」が必要になってしまいます。連絡頻度が少なくなつても何かしら「会う理由」を見つけましょう。見付ければいいんです。「会う理由」を見付けて幸田中でのつながりを大切にしてくれるとうれしいです。

大切なこと

山本 泰暉

教員となり、初めての生徒としてみんなとかかわったことをうれしく思いました。幸中の心に引き継がれてきた人を思う優しさは、人生において最も大切なと思います。

あいさつに「相察」という文字を当て、相手の心を察し、気遣い思っていることができる幸中のみなさんのが多幸を祈っています。

前へ進もう

鈴木 淳子

いよいよ卒業ですね。これから始まる新しい日々を、みんな前に明るく良いことがたくさんありますように。

もちろん大きな課題に挑戦するときには不安もありますが、「おら、わくわくすっそ! (わくわくする! でもいいです)」と言つてみると勇気が出ますよ! やつてみてください。元気を出して挑戦していれば、素敵な仲間が集まっています。人を信じ、困難に立ち向かっていってほしいです。「少年ジャンプ」みたいになりましたが、皆さん成長を心より楽しみにしています。

「いま」を大切に

丹羽 美智子

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。いつも元気なみんなにはたくさんパワーをもらいました。

長してきました。あなたをたくさんの方々が、心に響きました。みんなが三年生になったとき、少しずつ制限が解除されました。マスクを取った温かい笑顔が、心に響きました。

響

佐原 由香里

卒業おめでとうございます。これから先、皆さんはいろいろな道に進んでいくことでしょう。しかしどんな道を選んでも、もはや義務教育ではないことを覚えておいてください。

みんなが中学校時代に同じ時間を過ごした仲間を大切にしつつ、これから新たに出会いう人の関わりも大切にしている「素直さ」だと思います。

ご卒業おめでとうございます。かくしてほしいです。いろいろなことにチャレンジして、多くのことを経験してください。

「卒業おめでとう」を

「素直」

市川 茉咲

中学校を卒業して、これからまだ長い人生を生きていく上で、勉強ができること、運動ができること、他人より優れていること、そんなことは、相手を思いやる、よりも大切なのは、相手を思いやる、些細な気遣いができる、みんなが持つている「素直さ」だと思います。

みんなが中学校時代に同じ時間を過ごした仲間を大切にしつつ、これから新たに出会いう人の関わりも大切にしている「素直さ」だと思います。

自分が大きく成長できたこともあるでしょう。これからも多くの「出会い」があると思います。出会いは大切です。すし、今いる仲間も大切です。たくさんの人と出会い、いろいろなことに挑戦していきましょう。みんなの活躍をこれからも楽しみしています。

「義務教育終了おめでとう」
で何度も挑み、思考錯誤し、挑戦することで道は切り開かれてきます。何事にもその気持ちで取り組めば、きっと大きく成長することでしょう。

これからのみなさんの成長に心から期待しています。

「義務教育終了おめでとう」

渡邊 正道

卒業おめでとうございます。これから先、皆さんはいろいろな道に進んでいくことでしょう。しかしどんな道を選んでも、もはや義務教育ではないことを覚えておいてください。

自分の言動に対する責任も少しずつ生まれてきます。しかし、全く新しい世界もこれから広がっていくでしょう。何事にも恐れずに進んでください。

Do your best!

